

第14回 みくにひじり幼稚園・保育園 学校評価委員会 報告書

令和7年6月27日(金) 午後 6 時～

みくにひじり幼稚園 2Fホール

出席者

記録者 みくにひじり幼稚園主事 安達

堀 いつみ	三国地区社会福祉協議会	安達 巡	聖晋学園 理事長
仲田 弘伺	三国小学校 校長		みくにひじり保育園施設長
荒木 敬博	三国小学校 PTA 副会長	安達 祐一	みくにひじり幼稚園園長
	おやじの会 前会長	奥村 綾	みくにひじり幼稚園副園長
中村 彩子	保護者会 副会長	今井 明美	みくにひじり幼稚園主任
中川 悦子	保護者会 前会長	安達 香代	みくにひじり幼稚園主事
野田 遼太郎	おやじの会 会長	肥後 智美	みくにひじり幼稚園預かり主任
村松 大輔	保育園卒 現幼稚園 保護者	前田 純子	みくにひじり保育園主任
吉田 麻季	保育園卒 現幼稚園 保護者	隅川 千聡	みくにひじり保育園副主任
小西 渉	三国八町会 会長		

1、 園長挨拶

①学校評価委員会についての考え方②評価委員メンバー構成について③情報公開了承のお願い

2、 自己紹介

3、 評価内容項目

①令和6年度 自己評価結果公表シートについて(幼稚園・保育園)

②令和6年度 保護者アンケート(幼稚園・保育園)

4、 保育の取り組みについて(幼稚園・保育園)

○幼稚園 令和6年度評価項目『様々な人との交流の充実を図る』から、地域の方とのつながりが子ども達の遊びや育ちにどのような影響を与えているのか、保育の取り組み事例と共に報告。

○保育園 令和6年度、評価項目『保護者同士のつながりの充実』を基に取り組んだ『保護者懇談会』の実践報告。

5、意見交換(主なご意見)

○ひじり幼稚園に預かってもらっている子どもがいて、自由な保育だとは思いますが、大切な常識と道徳そこは教えていただいているみたいで、安心して預けさせていただいています。

職場環境もすごくいいと思う。先生はパワーがあって楽しそうにされていて、そこは大切なことと思うので、このまま頑張ってください。

○時代が変わってきているが、今見させてもらって、子どもに対する先生方の取り組みはクラスごとにされていて商店街に行ったりなど、園で見てるだけでも大変なのに、外に小さい子を連れて行って経験させてっていうのは大変。成長を見ていくのも先生方は楽しみで接してくださるのだと思うので、保護者さんの協力もあって、自分のこどもたちを知っていただけたら、もっとよりよい子どもの成長につながるのではないかなと思う。

○商店街のお買い物ってということで発表があったが、3 人目の子ども(小学校 1 年生)の時に買い物に連れて行ってもらって、私と一緒にいったら、早くしてって自分でさせることがなかったんですが、「一人で買い物に行きたい」「おつかいに行きたい」と言っていて、幼稚園でした自信と、わからなかいことがあったら聞いたら教えてもらえるからと言っていたので、じゃあ行ってみてと言っで行かした。そうっと付いていったが、結構ちゃんと自分でやっていて、自信をもって帰ってきたのでいい経験をさせてもらっているなと去年感じた。

していただいたことは自分ではできないけど、みんなとだったらできるというのはすごいなと感じた。保育園は、楽しい懇談会だなと思った。

○子どもが大根を収穫して味噌汁にするという話を聞いていたが、大根好きではなくて家では絶対に食べへんっていうけど、みんなで味噌汁を作ったときはたくさん食べていましたということを知っていて、みんなですると楽しく食べられる。園でみんなで作って食べると楽しく食べられる。

ミニトマト収穫できた！って聞いて、食べた？って聞いたら、「1個しか取れてないから 26 人で食べたら汁しか残らへんわ」と言っていた。楽しい取り組みをしていただいてありがとうございます。

○去年保育園卒業して、今写っていた保護者会に参加させていただきましたが、先生たちがこんなにいっぱい考えて準備してくださった会だったということを知れて改めて感謝しかないです。

すごい遊んでみて楽しかったし、盛り上がってすごい課題を与えられたなと思いましたが、2歳児だったのですんなり楽しく遊べました。0歳児だったら難しかったと思います。

先生たちも毎日笑顔で明るく接してくださっていたので娘はすごく楽しく毎日通っていたのでありがとうございました。

○保育園のときと幼稚園の時にいちにち先生をしたんですけど、ほかの園とか弟の園ではない。

参加することでほかの子どもに覚えてもらって、幼稚園保育園後に公園で遊んでいたら、先生と呼んでもらって、保護者同士のつながりにもなり、いろんな子どもの成長も見れて、どんなふうに食べてるかなど、家で見れない環境を見れるのがよかった。

○子どもを預けることで働きに行けたり、自分たちの時間を作れる。本来子どもの教育は親がすることであるが、そこをしっかりと労力をかけていただいて子どもたちを育てていただいていることに感謝している。いちにち先生行きたかったが、なかなか参加できずにいる。おやじの会もやらせていただいているので、先生だけではなく、保護者も参加してやっていかないといけないと思いました。

○下の子が去年卒園したが、買い物に一人でいけるよとか、「これできるよ」とお手伝いなんでも言うようになった。小学生になっても「これできたよ」を幼稚園でもやってもらっていたので、今でも言ってくれるのかなーと。うるさいくらいできたよーと言ってくれるので、ありがたい。

おやじの会でも僕は楽しくさせてもらっていたので、お父さんもお母さんも楽しめるのはいいなと思っています。ありがとうございました。

○評価委員会ということで、すごく勉強になった。多分不登園ってないのではないかなと思うお話を聞かせていただいた。小学校中学校は不登校とか行き渋りが課題になっているところ。

今の学習指導要領が作り変える時期になっていて、上智大学的那須先生とお話をする機会があっ

て、僕は算数を専門にやっているんですが、那須先生は小学校全般の話で、不登校になる子の気持ちってところをとり上げて話をしてくださった。

そこにはやらないといけないこと、やっちゃいけないことしかないって言うそうなんです。

不登校の子は、学校っていうのはそういうところ。でも、なんでそうってしまったのか。と那須先生はおっしゃっていて、社会構造の変化に学校現場がついてこれてないからではないかと。

昔、戦前は子どもが労働力で、つらい労働から解放されたから、学校に行きたかった。かどろかはその時代の人間でないとわからないですが。

1970年以前は学校にしかない素敵なもの貴重な物がたくさんあった。今は家より学校には古いものがいっぱいあり、家の方が新しくきちんとしている設備がある。

1990年以前は、勉強して、いい大学にいけばいい就職ができるということで、やらなきゃいけないこと・勉強が将来の投資になっていた。今ずるずるいっているが、今はいい大学にいったからといって、いい仕事・いい生活ができる世の中になっているかということ、そうではない。変わってしまっているところがあって、そのズレっていうところでいくと、もちろん社会が変わらないといけないというのはあるんですけど、学校に魅力がある所にならないといけないのかなという話をしてくださった。

みくにひじりがやっていることがまさにそれなのかな。と

やりたいことがある園というところが探求の部分になってくるのかなと思う。

幼稚園でなされていることを小学校とか中学校でも探求という活動を取り入れて、学校が魅力あるものになって不登校を減らしていこうみたいな発想になっている。

○今日話をうかがったことが、ヒントになると思う。幼稚園を頑張っている大学の先生の話をお聞きしたときに、年長さんになると園の中では頑張り屋さん。みんなから慕われる憧れられる存在になっているのに、小学校にあがった時点で一番下なので何もできない子の扱いになる。

幼稚園保育園小学校の接続部分を考えないといけないと教えていただいた。今年は入学式の時にやりなさいって言われるのではなくて、やるぞって言われる。「さい」ではなくて「ぞ」をできる子にしようという話をさせていただいた。

そのあたりも接続部分で、せっかく幼稚園・保育園でやっていただいていることを小学校に上がっても続けられるように小学校も考えていかないといけないなと今日勉強させていただきました。

5、理事長挨拶

○教育要領の改訂で10年前くらいになりますが、その時に昔の保育からだいぶ見直しました。

私たちの時代は笛1個持って子どもを並ばせて、この線に並んでってやっていたのをまだ小学校でもやっているのではないかというイメージ。

子ども主体で動くほうが、先生が大変、先生の実力がなくてできない。命令でする保育はマニュアルがあったらたいいの人ができる。小学校もそこまで変えようとなると、マンパワーとすごい研究が必要になるのではないかと思います。人数もかなり厳しいと思うが、社会的、世界中みてももの子ども主体の教育をしていかないと世界経済で日本が今落ちているのを押し上げられない。

こういう子ども達を大きくしていくっていうのが、日本の人材になってくるのではないかと思います。引き続き、保護者の方のご理解ご協力とか、こういう力が必要、先生大変というのを理解いただいて、小学校の先生を保護者の方が支えてあげたらと思います。

【アンケート結果(6通回収)】

① 自己評価結果公表シート評価結果について(幼稚園)

・適正である・・・6 ・適正でない・・・0

自己評価結果公表シート評価結果について(保育園)

・適正である・・・6 ・適正でない・・・0

〈ご意見〉

- ・幼稚園・保育園共に年齢にあった保育目標がよくわかるものでした。
- ・目標や計画がわかりやすく、園がその目標や計画に向けて本気で取り組んでいる様子が見てとれます。子どもが自分で考える、当たり前のことですが、忙しい現代社会、すぐに答えを与えてしまいがちで、私も反省の毎日です。理事長先生がおっしゃっていた様に、先生方の負担が大変大きくなりそうな教育方針ですが、先生達はいつも元気ではつらつとされていて、職場環境も大変良いのだろうと、常々感じております。自己評価結果公表シートを見て若手保育者の育成や環境の工夫など、色々熟考されているのが分ります。今後も目標に向けて邁進されていくと思います。
- 日本を根底から支えるお仕事ですので今後のご健勝も期待しております。アンケートからも子どもの成長が見て取れて楽しく読ませて頂きました。
- ・これだけ人間が集まると様々な意見があり、難しい事もあると思いますが、園の方針はブレずに続けていって欲しいです。
- ・目標や計画に対し取り組み状況をみると、職員間で情報の共有や研修などを頻繁に行なっていることがわかり、風通しの良い環境なのだろうと思いました。
- ・評価シートを先生方が共有し、保育に反映されているとわかり、今まで以上に安心して子どもを預けられると思いました。

② 保護者アンケート集計結果について(幼稚園)

・適正である・・・6 ・適正でない・・・0

保護者アンケート集計結果について(保育園)

・適正である・・・6 ・適正でない・・・0

- ・園と保護者とのつながりが取れていると感じた。
- ・両方とも解答率も高い上にとっても良かったの票が多い事がわかり、日頃の園で子ども達が充実して過ごせている事が伺える。また、子どもの様子もしっかり伝えてもらえて対応して下さっている事で安心して通わせられる園である事がとてもよくわかりました。
- ・高評価が 9 割となっており、園と保護者もいい関係ができていると思いました。たくさんの意見ひとつひとつに子どもたちを思う気持ちがあり、読ませていただき良かったです。
- ・良いことも悪いことも保護者の声が先生方に伝わっているのが良いことだと思います。

③ 保育の取り組みについて(幼稚園)

〈ご意見〉

- ・しっかり向き合って色々経験させて頂ける、無理矢理ではなく自然にやってみたいと興味を持たせてくださる、だれもが自分ではできない…と思う事のない楽しい保育だと感じます。
- ・「子どもに自ら考えさす」と言うミッションを先生方がストレス無く出来ている環境作りが素晴らしいと思います。子供は敏感ですから先生にストレスがあると、敏感に感じとってしまうと思うので。まずそこに力を入れているのかな？と言うのが感想です。今後も更なるレベルアップを期待しております。

・子どものつぶやきや意見から地域の人と交流できる取り組みを決め、その交流から子どもの気づきや成長を促すことができ家庭ではできない体験をさせてもらっているんだと思いました。安全面やクラスをまとめる話し合いなども簡単ではないと思います。年少クラスでも体験しているクラスがあると知り感服しました

・小学校にあがり、時間割がすべて決まっている、時間通りに授業を受けるということに慣れておらず、子どもがしんどそうだという話を聞きます。年長の最後数ヶ月でも、小学生ごっこのような形で「時間通りに椅子に座る」等、小学生にあがるためのルールを体験させるのも一つかと思いました。

・幼稚園生活の中で子どもがやりたい事を尊重してやらせてくれているので子どもの主体性が育っていると日々感じています。

・行く前は事務的な発表だと思っていましたが、園の取り組みや考え方など、知っているつもりでも様々な工夫やアイデアが見て取れて楽しかったです。

（保育園）

・保護者も楽しめる取り組みをされていて、保護者側として参加してみたい!!と思えました。

・人形やおもちゃ等にも工夫があり愛を感じました！

・孤独な育児にならないよう、保護者間のコミュニケーションを。という保育園の取り組みがよくわかりました。子どもにとって第2の家である保育園。言葉を話せない子どものことは、先生からのお話以外にも親同士を知っていると安心感が違うものだなと思いました。

・保育園生活の中では行事を通しての保護者の繋がりがあって子どもだけでなく保護者同士もコミュニケーションがとれていたのがよかったです。

◎本日の評価委員会の内容について

・園での取り組みの内容を理解できとてもよい時間でした。毎日たくさんの経験をしてたくさん自分で考えて楽しむことができる子ども達がいきいきとしている、素晴らしい保育をして下さっている事に改めて感謝しています。ありがとうございました。

・先生方が送ってくださるクラスだよりの裏側をみせていただけた気がします。クラスという30人ほどの人数をまとめ、どうしていこうかと話し合いをするのはプロジェクターでみた写真以上に大変だと思います。子どもが体験できるまでに先生方がたくさん話し合っただけ配慮してくださっていることがわかりました。

・奥村先生がおっしゃった子どもにも個性がありますが、先生にも個性があります。のお言葉に、クラス間に色々特色があるのも納得だなと思いました。「先生」という枠にあてはめてみてしまっていないか改めて考えさせられました。

・いつも安全に配慮していただきながら、子どもたちのやりたい！に寄り添っていただきありがとうございます。子どもたちに全力で関わってくださる先生方に感謝しかありません。

・非常にわかりやすい発表でした。発表を聞く機会がなければ、幼稚園の教育方針も正直理解していないと思います。

・アンケートで指摘を受けた方と直接対話をしたとあったので、そのような方にオブザーバーとして評価委員会に参加してもらっても良いのではとも思いました。

・保育園、幼稚園の両方とも共通して言えるのが先生方が顔を合わすたびに話していただいていたので、些細なことでも相談することができるのでとてもありがたいです。

・園のみなさんが、より良い保育をと先生自身成長するためにと学び、話し合い、園児一人ひとりと向き合い素晴らしい関係を持たれていると思いました。